



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2020/12/29 No.11

2020年9月11日 申18号

その2

2020年度営業関係施策について団体交渉を実施！

5. 八王子駅のお身体の不自由なお客さま対応業務の委託については、委託後の連絡体制を明らかにし、過去に連絡がつかないという声があったことから、駅内も含めて連絡体制の強化を図ること。

組:立川駅で委託したときに、操配がパンクし立川駅に依頼したくても電話がつかない事象があった。八王子駅のお身体の不自由なお客さま対応業務の委託にどのように活かしていくのか。また異常時における運転整理の連絡体制などの連絡体制は確立できるのか。

会:八王子駅のご案内件数は1日あたり50~60件、1件あたり時間がかかるのが特徴である。立川駅は操配のご案内が別々である。八王子はCSPが一括であるため連絡フロー図を作成して事前教育していく。詰所を横浜線の高尾方に設け、ATOSなどの機器類は配置する。運転整理の連絡体制は検討している。

組:委託先の教育だけでなく、本体にももっと目を向けるべきである。様々な諸問題を気付けるために、現在委託されている立川駅と八王子駅の意見交換会を実施するのはどうか。

会:立川駅と八王子駅の意見交換会は検討していく。

6. 今施策において管理駅が増加することから、様々な異常時に対して安全を確保したうえで、迅速に対応できる管理体制の強化を図ること。

会:青梅・甲府は管理駅が増えるが対応は可能と考えている。状況によっては管理駅でなく地区セも対応する。

組:支社と現場の意見交換をお願いしたい。課題は物理的な距離と時間。近隣駅との協力関係を強化して、異常時の早期復旧を図りお客さまへご迷惑をかけない体制を整えることが必要である。また他系統にも一目でわかるような管内図を提供すべきではないか。

会:近隣駅との連携については強化していきたい。管内図については示していく。

組:駅業務は出札や改札だけでない。管理駅が広がれば除草や除雪作業の範囲も広がる。除雪契約は見直されたと聞くと、負担軽減のためにも現場状況に合致した業務契約をお願いしたい。

会:営業部と設備部で除雪契約について見直した。除雪契約は結んでいるが、人材確保が難しくなっている。マンパワー不足は支社や地区セが協力して対応していく。部外の力を借りることは経営判断になることをご理解願いたい。

7. 今施策においても、本人が描くキャリアプランを遵守したうえで、実施すること。

組:本人希望を元に、十分コミュニケーションを取って異動をおこなうこと。

会:就業規則に則り取り扱うが、本人希望を把握しながらおこなっていく。

人に優しい鉄道・営業職場を
現場の意見をもとに創りだそう！

